

動物実験に関する自己点検・評価報告書

松山大学

2025 年 9 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 松山大学動物実験実施規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 松山大学動物実験実施規程が適正に定められており、それに沿った動物実験の審査、承認が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 松山大学動物実験実施規程が適正に定められており、それに沿った動物実験の立案、審査、承認が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正） 松山大学薬学部動物実験施設規約（2023 年 7 月 20 日改正） 松山大学薬学部動物実験施設における地震や火災等の災害発生時の緊急対応マニュアル（2018 年 2 月 6 日改訂） 松山大学遺伝子組換え実験安全管理規程（2007 年 2 月 1 日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 各種規程および規約等が適正に定められており、それに沿って動物実験が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学薬学部動物実験施設規約（2023 年 7 月 20 日改正） 松山大学薬学部動物実験施設における地震や火災等の災害発生時の緊急対応マニュアル（2018 年 2 月 6 日改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規約およびマニュアルが適正に定められており、それに沿って飼養保管が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正） 松山大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 松山大学動物実験委員会議事録より活動内容が確認でき、動物実験計画の審査等において、実施規程に沿った運営が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験計画書（2007 年 2 月 20 日制定） 動物実験の自己点検票（様式 2-1）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 松山大学動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告は、松山大学動物実験実施規程に則して実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程 (2019 年 10 月 24 日改正)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 事故は発生しておらず、安全に動物実験が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程 (2019 年 10 月 24 日改正) 松山大学薬学部動物実験施設規約 (2023 年 7 月 20 日改正) 松山大学薬学部動物実験施設における地震や火災等の災害発生時の緊急対応マニュアル (2018 年 2 月 6 日改訂) 実験動物飼養保管状況の自己点検票 (様式 2-2)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 各種規程および規約等が適正に定められており、それに沿って飼養保管が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正） 薬学部動物実験施設利用要領（2023 年 7 月 20 日改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程および要領が適正に定められており、それに沿って施設の維持管理が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学動物実験実施規程（2019 年 10 月 24 日改正） 松山大学薬学部薬理実習書および実習資料 動物実験施設利用者講習会資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程および各資料を用いて、教育訓練が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 松山大学 HP 上に、松山大学動物実験実施規程、動物実験施設年報、自己点検・評価報告書、動物実験実施に関する取り組みを掲載している。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 松山大学動物実験実施規程を公開し、これに沿った動物実験および飼養保管が行われていることについて自己点検を通じて確認し、HP 上で公開している。また、年報を作成し公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

--